



# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 健康増進事業の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	元気まる測定（あたま・からだ）年間参加者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	1,588	810	1,074	1,900	☀️ (向上)
評価	(状況)前年度の実績に比べ、現状値が264人増加した。 (原因)からだの元気まる測定機器をリニューアルしたことに 伴い、参加者数が増加したこと要因である。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

## 基本事業01 健康増進事業の推進

指標	健康増進に取り組む平均実践項目数（全7項目中）（項目）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	2.95	2.95	-	3.5	(比較不可)
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

## 基本事業02 健康相談・保健指導の充実

指標	健康相談対応率（%）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	100	100	100	100	☀️ (向上)
評価	保健師、歯科衛生士、管理栄養士等の専門職を配置し、電話・ 面接による健康相談への対応ができる体制を整えており、相談 対応率は100%を維持している。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 健康相談・保健指導の充実

指標	(参考：相談件数)（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	7,840	5,738	6,245	9,000	☔️ (低下)
評価	(状況)前年度の実績に比べ、現状値が507件増加した。 (原因)感染諸対策を実施しながら訪問や、各事業を実施した ことにより来所者等が増え、相談しやすい環境となったことが 要因である。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業02 健康相談・保健指導の充実**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	保健事業への参加者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	12,345	7,487	8,323	13,000	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が836人増加した。 (原因) 感染症対策を実施しながら各事業を実施したことにより、一部の事業ではコロナ禍以前の参加者数となったことが要因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業03 早期発見・予防の充実**

指標	定期的に健康診断（市・民間）を受けている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	82.0	82.3	-	83	(比較不可)
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業03 早期発見・予防の充実**

指標	乳幼児・児童生徒の定期予防接種の接種率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	102.5	91.9	100.8	95	☔ (低下)
評価	(状況) 昨年度実績値に比べ、8.9ポイント増加した。 (原因) 日本脳炎ワクチンの全国的な供給不足が解消したことにより、接種者が増加したことによるものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業04 母子保健の充実**

指標	乳幼児健康診査受診率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	97.2	96.5	97.7	97	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度から1.2ポイント上昇した。 (原因) 3か月児健康診査以外の健診は受診率が上昇した。コロナの感染状況による集団健診受診への抵抗感が少なくなったことが要因である。3か月児健診の受診率が低くなっているのは、長期の里帰りや疾患等、やむを得ない理由によるものもあるため、受診率だけでなく、未受診者の状況を把握し、月遅れでの受診や居住地への健診実施依頼などで、全ての児が健診を受けられるよう体制を整えていく必要がある。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業04 母子保健の充実**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	乳幼児の健康状態が把握できている割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	99.2	99.3	99.5	99.5	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度と比較して微増した。 (原因) 未受診者の実数も減少し、かつ未受診者の追跡を基準に沿って行い、把握に努めたことから実績値が微増した。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☑ (達成)

**基本事業04 母子保健の充実**

指標	母子保健サービスに対する満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	79.6	82.2	-	80	(比較不可)
評価	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業05 市民参加による健康づくりの推進**

指標	健康づくりに参加しているボランティアの実人数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【健康課】	123	61	61	150	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績と変化はなかった。 (原因) 活動を休止していた事業を、感染症対策を実施し再開したことにより、活動機会が増えたボランティアもいたが、高齢化や活動機会の減少により活動が続けられなくなったボランティアもいたため、増加・減少の両方の要因があり、変化なしとなった。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)